



さかいっこ かけはし通信



No.15 2026. 9

堺市幼児教育センター

7月、8月は各学校園で相互参観や合同研修が活発に行われました。各架け橋連携グループの、今年度の取組が進んでいます。

相互参観



小学校の夏季休業中なので、たくさんの先生が保育を参観しているね。



保育を参観した後、園長先生が小学校の先生に、園の保育についてお話されています。

《小学校の先生方の声より》

- ・あらゆる活動の中に、「こども主体」の土台作りをされていました。活動の導入段階から、保育者が試行錯誤し実践されている様子が見られました。
- ・遊びを通して感覚や思考が育まれていくというのを実感しました。5歳までの成長を踏まえたうえで、1年生からの小学校生活をスタートするイメージをもっていることが大切だと思いました。園で取り組まれていることは小学校での学習でも応用できそうだと感じました。

合同研修

テーマを絞った幼保小の合同研修会が増えてきたね。



「数のつながりについて」



「スタートカリキュラムについて」



「こどもの主体性を引き出す
保育や授業について」



「校区で大切にしたいこどもの姿について」

指導主事や、架け橋コーディネーターの話を聞いたり、保育や授業の動画を視聴したりしたあと、グループで意見交流をしています。テーマを絞っているので、具体的なこどもの姿や、日々の保育・授業の様子がたくさん話題にのぼり、幼保小のつながりが見えやすいです。

教育センターでは、架け橋期の保育や授業動画のDVDを貸し出しているよ。詳しくは、幼児教育グループに問い合わせみてね。

(例)「主体的な遊びで育つ子ども～あそんでぼくらは人間になる」「幼児教育から小学校教育へ1ねんせいになるってことは」



DVDのリストは
こちらの二次元コードから

第3回幼保小合同研修会では、各架け橋連携グループで、堺市共通版「架け橋期のカリキュラム」の試行についての話し合いをしました。今後の学校園での実践が楽しみです。